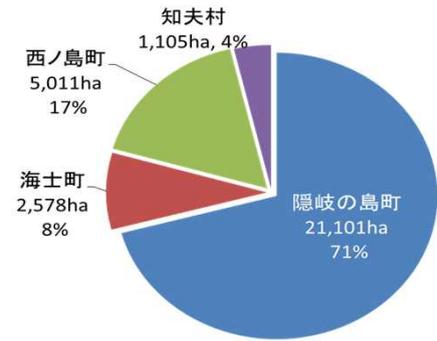


隠岐地域プロジェクトについて

島根県隠岐支庁（農林局）

1. 隠岐の森林資源

- 森林面積 29,795ha（島根県の6%）
- 人工林率 40%（県平均37%）
～ 島後48%、島前20%
- 樹種割合
（島後）スギ・ヒノキ 29%、マツ 31%
（島前）スギ・ヒノキ 18%、マツ 6%



2. 隠岐地域プロジェクトの課題と対応

(1) 隠岐（しま）の木材生産拡大プロジェクト（伐って）

【現 状】

- 原木生産の現状

	(m ³)			
	H23	H24	H25	H27目標
木材総生産量	10,462	12,581	10,547	20,000
島内	5,211	6,442	6,464	7,700
島外	5,251	6,139	4,083	12,300

- 素材生産者： 1森林組合・3林業事業者
- 需要先： 島内 4製材所
島外 合板工場、木材市場など

【課 題】

- 小規模分散する森林の集約化と効率的な作業による生産コスト低減並びに安定供給の実現

【対 応】

- 施業集約化、木材生産基盤（担い手、路網、機械化）の充実
- 安定的に供給する仕組みづくり



「隠岐（しま）の木出荷共同体」 H26.3.25設立

- ・島内外の需給動向把握、原木等の需給調整
- ・海運事業者との定期輸送調整
- ・島外需要者交渉・販路拡大営業活動

島外出荷拠点（小田岸壁）

(2) 隠岐（しま）の木材利用拡大プロジェクト（使って）

【現 状】

- 加工製造業者： 島内 4製材所
- 木材製品出荷量：構造材など約2,500m³

【課 題】

- 島内での木材消費は、消費増税後の消費動向など予測は困難であるが引き続き島内外での販路の拡大が不可欠

【対応】

- 島内公共施設での利用の推進と民間建築需要の確保
 - ・寸法、強度など安定した製品製造（JAS認定）供給
 - ・公共施設での利用の働きかけ（H26隠岐広域連合消防署）
 - ・木材製品開発
（床材等[スギ黒心材]、木製サッシ[マツ]、フローリング[マツ]）
 - ・新用途開発
（リグノフェノール用いた積層材、接着成分利用など）
- 島外販路の拡大
 - ・県事業体連合の活動への参画

◇木質バイオマス利活用

- ・ペレット製造（隠岐の島町：施設整備検討[H26年中に方針決定]）
公共施設ボイラー、家庭用ストーブ
- ・バイオマス発電
林地残材等の出荷を検討
- ・チップ、薪利用（西ノ島町、海士町 検討）
公共施設ボイラー、家庭用ストーブ

（3）原木しいたけ振興プロジェクト(使って)

【現状】

- 生産者 生しいたけ 吉崎工務店
乾しいたけ 乾しいたけ生産組合、吉崎工務店



○生産量

	H22	H25	H27目標
乾しいたけ	5.0t	5.5t	7.0t
生しいたけ	16.8t	18.0t	27.3t

【課題】

- 生産コストへの影響が懸念される原木の島内確保と商品の更なる販路開拓

【対応】

- クヌギ林情報の整備と造成による原木確保
 - ・隠岐の島町による既存補助事業のかさ上げ支援：H25新規5.8ha/年

○販売ルートの多角化

1 生産者	→ 農協	→ 全農椎茸事業所
		→ 格付共販（日本きのこセンター）
		↓（検討）
2 吉崎工務店	→	販売店拡大（こだわり屋・味楽園・一福他）

（4）隠岐（しま）の木材生産拡大プロジェクト(植えて・育てる)

【現状】

- 苗木需要・供給状況
 - ・需要量74,000本/年に対し隠岐地域における生産量9,000本/年

【課題】

- 伐採跡地の確実な再生を図るため、隠岐地域における苗木生産体制の強化

【対応】

- コンテナ苗生産の取り組み開始
 - ・苗木生産施設の整備
 - ・生産技術の取得・向上

